

# マクサンス・ラリュエの軌跡

～愛弟子とともに～

出演：マクサンス・ラリュエ

東條 茂子 / 清水 和高

中野 振一郎 (Cem) / 鷺宮 美幸 (Pi)

## Maxence Larrieu

### Program

J.-M. Leclair l'Aîné : Deuxième Récréation de musique

J.-M. ルクレール / 音楽の愉しみ 第2番

J.J. Quantz : Trio Sonate e-moll QV2 : Anh.5

J.J. クヴァンツ / トリオソナタ ハ短調 QV2 : Anh.5

J.S. Bach : Sonate G-dur BWV550

J.S. バッハ / ソナタ 長調 BWV530

F. Doppler : La Sonnambula op.42

F. ドップラー / 夢遊病の女 op.42

E. Kronke : Suite Im Alten Stil op.164

E. クロンケ / 古い様式の組曲 op.164

T. Böhm : Trois Duos de Mendelssohn et Lachner

T. ベーム / メンデルスゾーンとラハナーによる三つの二重奏曲

W.A. Mozart : Andante C-dur K.315 Rondo D-dur K.Anh.184

W.A. モーツァルト / アンダンテ ハ長調 K.315 ロンド ニ長調 K.Anh.184

F. Kuhlau : Trio C-moll op.13-2

F. クーラウ / トリオ 短調 op.13-2


\*曲目は変更になる可能性がございます

2018 5/22 (火) 19:00 開演 浜離宮朝日ホール  
18:30 開場

チケット発売 ▶ 3/1 (木) 一般：¥4,000 (前売り¥3,500) 学生：¥2,000 (前売り¥1,500)

\*チケット取扱い：パウエル・フルート・ジャパン 03-5339-8383 / チケットぴあ / 朝日ホールチケットセンター 03-3267-9990 他

◆主催：マクサンス・ラリュエ コンサート実行委員会◆

後援 /  (社)日本演奏連盟

(一社)日本フルート協会

■協賛・協力 / (株)ドルチェ楽器 パウエル・フルート・ジャパン

# Profile



## マクサンス・ラリュエ

1934年フランス、マルセイユ生まれ。マルセイユ音楽院にてジョセフ・ランパル氏(ジャン=ピエール・ランパル氏の父)に師事。パリ音楽院にてガストン・クリュネル氏に師事。1953年ミュンヘン国際コンクール入賞。1954年ジュネーブ国際コンクール第2位。1964年よりパリ・オペラ・コミック(ガストン・クリュネル氏の後任)、1972年から77年までパリオペラ座管弦楽団首席奏者。パイヤール室内管弦楽団ソリストとしても1960年以降、世界各国で100回以上のコンサートと数多くの録音に出演している。教育者としてジュネーブ高等音楽院(1977-2000)、リヨン国立高等音楽院(1980-1994)教授を歴任。2007年にはニースにおいて「マクサンス・ラリュエ国際コンクール」が創設された。フレンチスクールを代表する世界的なフルーティストとして、ラリュエの気品ある流麗な音楽に魅了された支持者はフルート界のみならず多方面に及んでいる。日本へは1964年以降数多く来日、日本フルート界の発展に大きな功績を残している。2016年の来日では深い精神性を伴った、至純ともいえる美を感じさせる音楽で聴衆に深い感動をあたえた。名実ともにフルート界「最後の巨匠」と呼ばれる存在である。



## 東條 茂子 (フルート)

桐朋学園大学にてフルートを峰岸壮一氏に、フラウト・トラヴェルソを有田正広氏に師事。同大学を卒業後、ジュネーブ音楽院にてマクサンス・ラリュエ氏に師事。在学中よりジュネーブ室内管弦楽団フルート奏者として、スイス・ロマンド放送等に数多く出演。同音楽院を1等賞にて卒業。帰国後はソリスト、室内楽奏者として国内外で幅広く活動している。近年は古楽器、クラシカル楽器奏者としての活動にも力を入れている。録音は「東條茂子フルートリサイタル〜華麗なるポロネーズ」(ALCD9011)、「French Music for Bassoon」(ADW7349/Pavane)「天上のギフト〜1日の終わりに聴く珠玉のバロック小品集」(フォンテック)、師ラリュエとの共演「Récréation」(skarbo)等があり美しい音色と自然な音楽性で高い評価を得ている。オフィシャルサイト[www.shigekotojo.com/](http://www.shigekotojo.com/)



## 清水 和高 (フルート)

東京藝術大学においてフルートを金昌国、細川順三各氏に師事。ジュネーブ音楽院においてフルートをマクサンス・ラリュエ氏に師事する。同音楽院を1等賞にて卒業。日本木管コンクール入選他、フランス、イタリアの3つのコンクールにて入賞する。帰国後は国内での活動の他、イタリア、スイス、ポルトガル、ルクセンブルク、スウェーデン、アメリカ、ハワイ、香港、タイの音楽祭や大学より招聘され、演奏会、マスタークラス、講義を行う。イタリアで開催された第1回、第5回セヴェリーノ・ガッツェローニ国際フルートコンクールの審査員を務める(第5回は審査委員長)。論文は『フランソワ・クーブラン コンセール集にみるアグレマンについて』、『クヴァンツのテンポシステムによる演奏習慣について』がある。現在東京学芸大学准教授。



## 中野 振一郎 (チェンバロ)

1986年桐朋学園大学音楽学部演奏学科(古楽器専攻)を卒業。1990年に大阪で開いた4回連続の独奏会「ヨーロッパ・チェンバロ音楽の旅」により「大阪文化祭金賞」等を受賞。翌年7月にはフランスの「ヴェルサイユ古楽フェスティバル」のクーブラン・サイクルに出演。ケネス・ギルバートやボブ・ファン・アスペレンら欧米を代表する名手と肩を並べ「世界の9人のチェンバリスト」の一人に選ばれる。1992年「パークレー古楽フェスティバル」へ最年少の独奏家として招かれる。2003年「バッハ フェスティバル ライプツィヒ 2003」に出演。2004年7月から8月にかけて行ったドイツでの単独リサイタルツアーが現地で大絶賛され、同年10月に日本で開催したりサイタルが「平成16年度文化庁芸術祭・大賞」を受賞した。2009年アジア最大級の音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」に初出演。「パーセル作品集」で第47回レコードアカデミー賞(音楽史部門)に輝く。2010年チェンバロ演奏のための手引書「チェンバロをひこう」(音楽之友社)を出版。京都市立芸術大学、名古屋音楽大学等で後進の指導にもあたっている。



## 鷺宮 美幸 (ピアノ)

桐朋学園大学ピアノ科在学中、パリに留学。帰国後、同大学を卒業。第56回日本音楽コンクール入選を皮切りに、UFAM国際コンクール(フランス)など国内外の多くのコンクールで入賞。これまで、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のクリストフ・ハルトマン、イ・ムジチ合奏団のマッシュモ・パリス、ヴァイト・パテルノステル、また、ジャン・ワン、マクサンス・ラリュエ、ミッシェル・マイスキーなど、国内外の著名なソリストと共演。2013年には、シンガポールでグリーグのピアノ協奏曲、ベートーベンのピアノ協奏曲第5番「皇帝」を一夜で演奏し「The Straits Times」で絶賛された。2016年、ラヴェルのピアノ協奏曲を演奏し、雑誌「音楽現代」で“真の意味の実力者”と評され、また、2017年にはラフマニョフのピアノ協奏曲第3番を演奏し、同雑誌で“ヴィルトゥオーゾ”と評価された。NHK・BS、NHK・FMにも度々出演。CDに、「ワッシー・ファンタジア」(PF.鷺宮美幸/DQC65パステリエル)他、多数リリース。現在、ソリスト、室内楽奏者、桐朋学園大学囃子演奏員、オメガ・ピアノトリオのメンバーとして活躍。オフィシャルサイト<http://www.miyuki-washimiya.com/>

## VERNE Q. POWELL FLUTES

### フルートの究極。

1927年、ボストンで誕生して以来、  
パウエル・フルートはいつの時代にもフルーティストの心をとらえてきました。  
コンサートホールに響きわたる豊麗な響き、正確なイントネーション、  
快活でスムーズなアクション、気品に満ちたフォルム、  
これら全てにV.Q.パウエルから受け継がれてきた  
伝統のクラブマンシップが息づいています。  
パウエル・フルートは今、フルートを愛し、  
真の芸術性を追求していただく方々のための、  
究極のフルートとして存在します。



### パウエル・フルート・ジャパン

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-13-12 西新宿昭和ビル8F  
TEL 03-5339-8383 FAX 03-5339-8384 flute@powell-japan.com  
営業時間 10:30am~7:00pm 本館定休(本館日が祝・祭日の場合、営業)  
[www.powell-japan.com](http://www.powell-japan.com)